

京都大学医学部附属病院 整形外科 臨床研究に関する情報の公開

2025.8.5 ver2.3

研究課題名	AIによる整形外科レントゲン画像および透視画像の3DCT化ソフトの開発
倫理審査と許可	京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。
研究機関の名称・研究責任者の氏名	< 研究代表機関 > 京都大学医学部附属病院 整形外科 助教 河井利之 < 共同研究機関 > 滋賀県立総合病院 整形外科 科長 宗和隆 大室整形外科脊椎・関節クリニック 副院長 横山 徳一
研究の目的・意義	多施設で蓄積された医療情報を元に、整形外科レントゲン画像及び透視画像から3DCT画像を高精度に推定するAIモデルを開発することが目的です。本研究により安価で低被曝のレントゲン画像及び透視画像からCT画像を高精度に推定することで、CT撮影の頻度を下げることができ、医療コストの削減及び患者への放射線被曝負担を減らすことが可能となるところに意義があります。
研究期間	研究機関の長の実施許可日から2030年3月31日
利用または提供を開始する予定日	各研究機関の長の実施許可日以降に利用開始します。
対象となる情報の取得期間	2000年1月1日から2030年3月31日の間に、京都大学医学部附属病院整形外科、滋賀県立総合病院整形外科、大室整形外科脊椎・関節クリニックにおいて、関節外科手術（股関節、膝関節）および、脊椎外科手術の為に診察および検査を受けた患者さん
情報の利用目的・利用方法	3DCT化AIソフト開発の為に、学習に必要な医療画像データ（レントゲン画像、術中透視画像、CT画像）および臨床情報（病名、年齢、性別、身長、体重、術式、手術年月、術後有害事象）を電子カルテから抽出し、各機関で個人を特定できる情報を削除した上で、それらデータをAIに学習させます。
利用する情報の項目	各患者の、術前および術後のレントゲン画像、術中透視画像、CT画像、臨床情報（病名、年齢、性別、身長、体重、術式、手術年月、術後有害事象など）
情報の管理について責任を有する者の氏名	京都大学医学部附属病院 整形外科 助教 河井利之

研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用を停止すること及びその方法	ご自身の情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析前であれば解析対象から削除します。
研究に関する資料を閲覧する方法	ご希望があれば、研究計画書の閲覧は可能ですので、お申し出下さい。
研究資金・利益相反	1) 研究資金の種類：運営費交付金 2) 提供者と研究者との関係：資金提供者は研究内容に一切関与しません。 3) 利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規定に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。共同研究機関においても各機関の規程に従い審査されています。
研究のお問い合わせ先ならびに苦情等の窓口	1) 研究課題ごとの相談窓口 京都大学医学部附属病院整形外科 藤田暁、河井利之 (Tel) 075-751-3366 (E-mail) akfujii@kuhp.kyoto-u.ac.jp 2) 京都大学の相談等窓口 京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口 (Tel) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp